

木材価格市況標準相場

令和6年2月2日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	4
北洋材・北欧材	4
(2) 値下げ品目	6
東海材	3
合板	3

○今月の市況動向

1月の商況は、先月に引き続き、「荷動きは低調」の内容が多く占めた。プレカット工場の受注状況も落ち込んでおり、3月までは厳しい状態が続くとの報告であった。

(国産材) 構造材は全く動かない。秋田では、12尺の丸太が不足気味で、原木価格も上昇気味との報告もあった。

(輸入材) 荷動きは低調であるが、北洋材の埠頭在庫量はウッドショック時の水準まで減少している。ヨーロッパ材の航路迂回については、緊急サーチャージの負担要請があり、コストUPと納期遅延の影響が心配との内容であった。

(合板) 国内針葉樹合板は4か月連続の値下げとなった。能登半島地震による北陸メーカーの減産による影響は無い。新潟複合合板メーカーのドライヤー火災の影響は多少出始めており、一部輸入合板で代替しているとの報告。